

現在、「あいち森林インストラクター会」の会長を務める大澤秀文さん。約40年程前、休日の度に近所の子どもたちといっしょに森の中で楽しく過ごし、自然の素晴らしさとその保全の大切さを感じ取ったことが、環境活動を始めの原体験となっているそうです。環境活動のスタートは、職場と両立できる「森の学びと保全活動」。セカンドライフを考えるようになり、子どもの頃に遊んだ森に恩返ししたいという思いで、活動を始めました。そんな大澤さんに、環境活動をする喜びや事業の内容などについてお話を伺ってみました。



「環境ボランティアの社会への定着をいっそう期待したいですね。」

あいち森林インストラクター会 会長 大澤秀文(おおさわひでふみ)さん

●環境活動を通じて、幅広い世代と語り合えることが喜びです。

森林インストラクター(森林を利用する一般の人に対して、森林や林業に関する適切な知識を伝えるとともに、森林の案内や森林内での野外活動の指導を行う人のこと。)として、子どもから熟年まで世代を超え、自然の中で、森の素晴らしさや樹木たちのもつ知恵や工夫を語り合い、驚きと喜びをもって、森の大切さを実感してもらえた時は、環境活動が続けていてよかったと感じる瞬間ですね。

また、森林ボランティア活動もしていますが、人工林・雑木林

の除伐・間伐などの保全活動でビフォー・アフターの違いが実感できた時、その一日の「やりがい感」はとても大きいものがあります。

●県内で環境学習事業を展開しています。

あいち森林インストラクター会は、交付金を活用して、「なぞとき樹木探偵」環境学習を県内の身近な森である都市公園や緑地等で実施しています。身近な森で「森を楽しみ、森に親しむ、森から学ぶ」を狙いに親子を中心に多数の参加者を迎え、多くの感謝と大きな喜びをもらっています。これらの活動は、多くの森林インストラク

ターのチームワークで実現できており、感謝しています。

●気楽に環境活動をスタートしてみてもいいですか？

環境活動に興味があっても、どう始めていいかわからない方もおられるかと思いますが、興味のある環境イベントがあれば、気楽に参加していただければ良いと思います。自然の中の森は多様な地形を持ち、その中で多くの生きものが、変化しながら生きています。私たちもその一員として、いろいろと楽しむことができますよ。



子どもたちに解説をする森林インストラクターのみなさん

森・緑の育成活動

美浜町竹林整備事業化協議会

知多半島における生態系ネットワークの形成

美浜町内のモデル林において、竹林整備作業を実施し、伐採した竹を焼却し、消し炭を作りました。消し炭は、有機農業の野菜作りに活用するとともに、整備後の土地は、タケノコ畑・シイタケ栽培・ドングリの森に活用しました。



活動を開始してから約10年が経ち、暗闇だった竹林も明るくなり、春にはタケノコが数多く顔を見せるようになりました。竹林整備の副産物の竹の消し炭（ポラス炭）も有機農業の農家さんに土壌改良材として使ってもらえるようになりました。

竹を倒すのが気持ちよかったですし、切った後明るくなって気持ち良かったです。説明が分かり易く勉強になりました。

事務局長 神野 悦夫さん

参加した方の声

水と緑の恵み体感

矢作川感謝祭実行委員会

2020矢作川感謝祭

とよたエコフルタウンにて、2020矢作川感謝祭を実施しました。コロナ禍の中、消毒や密を避けるなどの感染症対策を行い、参加者に矢作川流域の山・川・里・海のつながりや魅力を伝えることが出来ました。



矢作川の素敵な空間で、みんなが集まり笑顔があふれるよう、仲間と楽しく矢作川流域の魅力を伝えていきます。

矢作川流域の生きものを見ることができて楽しかったです。矢作川流域産の木材で作った「お魚ペンダント」が良かったです。

矢作川感謝祭実行委員会
会長さん

参加した方の声

森林生態系保全の学習

地域の環境を考える会

地域住民と考える環境フォーラム「GREEN SMILE FESTA」の開催

家族で楽しく遊んで学ぶエコ縁日イベントとして、知多市勤労文化会館で開催。地元キャラクターを起用した環境啓発ステージ、生物多様性の大切さを学ぶネイチャークラフトやゲーム、オンラインクラフトを実施しました。



新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが減っていた中、多くの方に参加していただき、楽しんでいただくことができて良かった。

事務局員 辻 麻利子さん

子どもにもわかりやすいステージ内容で、クイズも親子共に楽しむことができた。身近な生き物の世界に興味があった。

参加した方の声

太陽・自然の恵み学習

北名古屋市

緑のカーテン事業

公共施設や保育園等で緑のカーテンを育成しました。また、一般家庭にゴーヤ等の苗を配布して、緑のカーテンコンテストへの参加を呼びかけ、コンテストで優秀な緑のカーテンを表彰してカーテンの効果を周知しました。



遮光カーテンで太陽熱を防ぐ代わりに、緑のカーテンのおかげで見た目にも涼しく、部屋の中も明るくできました。

参加した方の声

学生食堂を利用する学生や教職員から日除けと緑の癒しになると毎年喜ばれており、栽培後に採れた種を翌年に利用することで栽培のサイクルができています。

名古屋芸術大学 准教授 鎌倉 博さん



独自提案による環境保全活動・環境学習

あいち海上の森フォーラム実行委員会

人と自然の共生を未来につなぐ
「あいち海上の森フォーラム実行委員会」

愛・地球博の理念を継承し、生物多様性の保全や人と自然の共生を追求し、持続可能な社会をつくることを目的に、共生ネットワーク推進事業、海上の森研究課題の募集、SDGsに関するシンポジウムなどに取り組んでいます。



個人・団体・企業など多様な主体が参加して、人と自然の共生について多角的な視点で学び、考え、発信する取組を会員、参加者とともに手作りで実施しています。

事務局長 浦井 巧さん

生物多様性は本当に奥が深く複雑です。絶滅危惧種を救う研究はよく着眼されたと感じを受けました。また、海上の森からの報告はとても楽しく、もっと知りたいです。

参加した方の声

生態系ネットワーク形成

東部丘陵生態系ネットワーク協議会

蝶が飛び交うファクトリー「守山の杜」
における絶滅危惧種の保護

大日本印刷株式会社中部地区の「事業所内の緑地づくり」活動として、グループ事業所内緑地「守山の杜」において、様々な主体と連携し、トウカイヨシノボリなどの絶滅危惧種の生息域外保全を行うため、ビオトープ整備を実施しました。



企業の敷地の中において、このような豊かな自然環境があることを実感できました。この取組が地域に広がることを願います。

参加した方の声

貴重な水生昆虫の生息環境や東海丘陵要素植物の保全を図り、ネットワーク形成を図ることができ、周辺企業へも波及していくことを期待しています。

大日本印刷株式会社 八橋 俊明さん

